

3月・4月
中間選挙

日本共産党6市町で7人当選・現有議席確保 日光市で複数議席回復



支持者と複数議席の確保を喜び合う両福田氏

3月、4月におこなわれた定例の地方議員選挙で、日本共産党は、日光市、栃木市、那須烏山市、壬生町、高根沢町、那珂川町の3市3町に8氏を立ててたが、7氏が当選しました。選挙の結果、議員数は前回比、改選比とも1増となりまし。得票数は全体で、前回比85・22%、昨年の参院選で共産党が得た比例票比で136・38%でした。

●日光市議選(定数28) 13日投開票で、現職の福田悦子氏(64)と新人の福田道夫氏(55)の2人が当選し、1議席増となり、4年ぶり3町に複数議席を回復しました。福田悦子氏は14位で当選しましたが、新人の石嶋力夫氏(55)は、32位で惜敗し、複数議席の回復はなりません。両氏の得票数は、2767票(得票率は6・21%)で前回比33・1%、得票率は159ポイント前(得票率5・11%)で、昨年(1962票、54%)を上回り、議席占有率は0・24ポイント後退しました。



那須烏山市の演説会で声援に応える塩川衆院議員

●那須烏山市議選(定数18、立候補19人) 13日投開票で現職の森弘子氏(61)は、昨年の参院比例票の約1・64票を得て10位で当選しました。獲得票率は5・45%を得て8位で当選しました。

●那珂川町議選(定数15、立候補16人) 20日投開票で現職の益子輝夫氏(64)は、得票数・率ともに前回は上回り、2期目の当選を果たしました。得票率は51票(得票率4・60%)を得て、12位で当選。現職は昨年の参院選で共産党が得た比例票の約1・73倍でした。

●壬生町議選(定数16、立候補17人) 3月23日投開票で現職の小貫暁氏(65)は、751票(得票率4・60%)を得て、12位で当選。現職は昨年の参院選で共産党が得た比例票の約1・73倍でした。

塩川衆院議員 党演説会で応援

3・4月の中間選挙勝利をめざし、日本共産党の塩川鉄也衆院議員は、6市町で開かれた党演説会に駆けつけ、党躍進への支援を訴えました。3月2日の壬生町での演説会を皮切りに、日光市は8日、那須烏山市と高根沢町は23日、栃木市と那珂川町は29日(いずれも3月)に回りました。

塩川議員は、原発再稼働や集団的自衛権の行使を拒む安倍暴走政治を厳しく批判し、「共産党の議席が国政地方政治で増えることが、暴走政治を止める一番の力、保障になる」と強調。各候補者と壇上に立ち支援を呼びかけました。

集団的自衛権行使容認に反対 県弁護士会が会長声明

県弁護士会(橋本賢二朗会長)は3月31日、容認に反対する会長声明を発表しました。また、集団的自衛権の行使を「国家安全保障基本法」で行おうとしていること、この動きを「平和主義、基本的人権の尊重」として憲法の基本原則、実質的に憲法改正を

行うものである」と指摘。「法の支配、立憲主義を無視する、看過できない暴挙である」としています。県弁護士会は、これまでにも、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める会長声明を発表(2月)するなど、安倍内閣の暴走政治をストップさせる活動を強めています。



那須烏山市 平塚 英教 59歳 9期目 (旧烏山町議6期)



栃木市 白石 幹男 59歳 4期目 (旧栃木市議2期)



日光市 福田 道夫 55歳 1期目



日光市 福田 悦子 64歳 5期目 (旧日光市議2期)



那珂川町 益子 輝夫 64歳 2期目



高根沢町 森 弘子 61歳 6期目



壬生町 小貫 暁 65歳 9期目

3月・4月の中間選挙の当選者を紹介します

栃木民主新報

日本共産党栃木県委員会
発行人 小林 年 治
栃木県宇都宮市東浦町21-12 〒321-0167
電話 028(658)4302 FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日 1ヶ月100円

発行日変更のお知らせ
第1312号は編集の都合により発行日を第4日曜日に変更いたしました。事前にお知らせできなかったことをお詫びいたします。

消費税8%への増税、くらし破壊許せない! 県民の運動広げて要求実現を



栃木労働局に要請する参加者(奥側)



東電に要請書を手渡す代表(左側)

「くらしと福祉・教育 民運結」と栃木県労の充実をめざす栃木県 働組合連合(県労連)は17日、消費増税の撤回をはじめ、労働者の賃上げや原発ゼロなど、県民の切実な要求の実現を求め、「4・17春の地域総行動」を県内各地でとりくみました。朝7時半、JR宇都宮駅での宣伝を皮切りに、県や宇都宮市などの自治体、いすゞ自動車、栃木労働局や県経営者協会など9団体の要請書を提出し、意見交換しました。

消費増税への対応では、福田富一知事も要請。年金生活者や生活保護世帯などの生活弱者を救済する助成制度の拡充などを求めました。

また、東京電力栃木支店への要請行動では、

現を求め、「4・17春の地域総行動」を県内各地でとりくみました。朝7時半、JR宇都宮駅での宣伝を皮切りに、県や宇都宮市などの自治体、いすゞ自動車、栃木労働局や県経営者協会など9団体の要請書を提出し、意見交換しました。

消費増税への対応では、福田富一知事も要請。年金生活者や生活保護世帯などの生活弱者を救済する助成制度の拡充などを求めました。

また、東京電力栃木支店への要請行動では、

第85回栃木県メーデー

働くものの団結で、生活と権利を守り、
平和・中立の日本をめざそう

5/1(木) 9時半開場 集会後デモ行進 約2.1km (11:10~12:00)
10時開会

◆会場 宇都宮市オリオンスクエア (宇都宮市 オリオン通り内)
主催 第85回栃木県メーデー実行委員会

「憲法記念日」講演会

◆とき 5月3日 午後1時開会
◆ところ とちぎ福祉プラザ 研修室A・B 宇都宮市若草 1-10-6 電話 028-621-2940
◆講演 三上 満さん(全国革新懇代表世話人) 「宮沢賢治と憲法」
飯田 進さん(田中正造を現代に活かす会) 「田中正造の憲法観そして自民改憲草案」
主催=平和・民主・革新の日本をめざす栃木の会

「つながる、つたえる、そして未来へ」集い 県内各地から千人が参加

放射能汚染問題について考えるイベント「3年を迎えて、子どもの未来のために」と題して講演。子どもを被曝から守る対策として①一時的な疎開生活の実施②校庭・園庭の土の剥ぎ取りによる除

主催は、「那須塩原放射能から子どもを守る会」や「那須野が原九条の会」など20団体による実行委員会。

市民団体が活動報告し、京都大学原子炉実験所の小出裕章助教が

午前、午後2回の上映会。当時の運動で中心的役割を担った元同町長の笹口孝明氏(66)が、同会場でスピーチし、参加者と交流しました。

映画鑑賞した人のうち、116人が「アンケート」に回答を寄せると、ど共感を広げました。



講演に聞き入る参加者